

令和6年度

森林・林業の技術交流発表大会集録

令和6年11月7日（木）～8日（金）



九州林政連絡協議会

九州森林管理局

九州林政連絡協議会会長挨拶

九州森林管理局長の橘でございます。九州林政連絡協議会の会長を仰せつかっておりますので、開会にあたり一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まず、本日の発表大会に九州各県から多数ご参加をいただきまして、ありがとうございます。



また、皆様方には、日頃からそれぞれのお立場で九州の森林・林業・木材産業の発展にご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

本年も、台風10号など九州におきましても大きな自然災害が発生しておりますが、全国的に、何十年に1回というような被害が続いている中で、多くの方々が明らかに気候の変化、温暖化の影響を感じておられると思います。

このことは、森林の持つ国土保全機能に対する国民的な関心を高めてくれているという一方で、国土の3分の2を占める広大な森林の管理についての必要性と困難性、そして、従来からの山村や中山間地等は、もちろん都市部も含めて人口減少が進む中で、将来どのように森林を管理していくのか大変大きな課題を私たち林業関係者に突きつけてきます。

また、最近では林業分野に限らずあらゆる産業で人手不足が深刻化しているという話を聞きますし、近年順調に伸びてきた国産材の生産量も、先日林野庁が公表しました統計では自給率は上がっても住宅等の需要が縮小

し生産量の絶対値では10数年ぶりに減少するという結果となるなど、人口減少の影響を強く意識する機会も増えたように思います。

このように、社会全体を取り巻く環境が、地球温暖化や人口減少といったような形で、徐々にではありますが身近に実感できる速度で変化をしてくているということであり、森林管理や林業経営といった分野においても、その変化に対応していくことが求められます。

今後もさらに進むであろうこのような変化に適切に対応していくためには、地域の気候風土に根ざした技術・背景・分析等に基づき、より効率的で効果的な森林管理や林業経営の方法等といったものを追求していくことが重要であります。加えて、そのための取組は、将来を担う若い世代の方々に積極的に進めていただくことが望ましいと考えております。

そのような意味からも、毎年開催されております本大会が、特に若い世代の方々の取組みのきっかけの一つとなってくれることを願っておりますし、本日までご発表いただく皆様が取組まれた成果にも将来の森林管理等に役立つものとして大いに期待をしています。

結びに、本大会を契機に九州の森林・林業関係者の交流がますます深まり、地域の森林・林業・木材産業の発展につながることを祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

目 次

I 一般発表

【森林技術部門】

			頁
1	おうちでビッターリッヒ法 —GXに向けた取組 ICT機器活用事例—	佐賀森林管理署	寺本 宏司 1
2	小型低温人工乾燥施設整備にかかる取組について	福岡県 行橋農林事務所 林業振興課	鬼塚 健太 3
3	長方形植箇所での下刈りの筋刈り実行箇所における筋刈り方法別の低コスト・省力化の考察	長崎森林管理署	天海 遥 5 長瀬 聖人 森 浩
4	阿蘇地域の林業を盛り上げる担い手育成の取組み	熊本県 県北広域本部 阿蘇地域振興局 農林部 林務課	松井 由佳里 8
5	業務の効率化で「市職員のマンパワーアップ」を目指した取り組み	佐賀県 佐賀中部農林事務所 林務課	福田 寿春 10
6	収穫調査のICT化について	九州森林管理局 (元宮崎北部森林管理署) 宮崎北部森林管理署	丸岡 仁人 12 鎗水 秀虎 甲斐 菜々子 田中 晃大
7	東彼杵郡の森林を育む ～森林経営管理制度のすすめかた～	長崎県 県央振興局 林業課	深堀 惇太郎 15
8	南薩地域における天然広葉樹林の活用	鹿児島森林管理署	嶋 徹矢 17 一川 彩華 宮崎 太守
9	循環型林業の確立に向けた取組み —大分県豊肥地区の構想—	大分県 豊肥振興局 農山村振興部	西胤 謙吉 20
10	造林作業の機械化に向けた取組	宮崎南部森林管理署	小中原 真 22 梅見 弘太郎 浦田 紘伸
11	南薩地域の森づくり推進の取組について	鹿児島県 南薩地域振興局 農林水産部 林務水産課	山下 幸一 25
12	タブレットを活用した立木調査業務の省力化について	大隅森林管理署	新藤 崇人 27 二子石 文子 伊藤 芽依
13	「新しい林業」の普及に向けて ～諸塚村における早生樹センダンの取組～	宮崎県 東臼杵農林振興局 諸塚駐在所	三田 岳 30

14	鉄鋼スラグを用いた路面処理の事例について	森林整備センター 大分水源林整備事務所	長渡 溪太 中島 伽月	33
----	----------------------	------------------------	----------------	----

【森林保全部門】

1	特別保護地域における課題と新たな試み	熊本南部森林管理署	富永 遥己 新長 千聖 能塚 博康	36
2	単木保護等によるシカ被害の回避・低減に向けた取り組みについて (生分解性資材等によるシカ被害対策)	宮崎森林管理署都城支署 森林技術・支援センター	田中 凌太 高橋 陽介	38
3	伊佐地区における猟友会と野生動物撃退装置を連携させた新たな有害鳥獣対策の取り組み	北薩森林管理署	藤川 晃久 白内 慎哉 東 佑太 新村 日奈子	40
4	世界自然遺産地域における入林の管理について	沖縄森林管理署	濱元 海斗 曲瀬川 淳一	43

【森林ふれあい部門】

1	屋久島の林業のあり方検討 —その後の取組—	屋久島森林管理署 屋久島森林生態系保全センター	迫 裕樹 黒安 耕佑 塩澤 翔	45
2	西表島における自然環境教育の推進に向けた取り組みについて	西表森林生態系保全センター	須崙 翔太 赤星 光希	48

II 高等学校発表

1	林地残材を活用した木製ペット用品の開発と森林環境教育の実践	熊本県立芦北高等学校 (林業科)	福田 彩来 原屋 裕介 元村 叶夢 谷口 翔 鳥江 律輝	51
2	沖縄戦を乗り越えた平和の木を繋ぐ ～今復活！もう幻とは言わせない～	沖縄県立北部農林高等学校 (林業緑地科・生活科学科)	玉城 美愛音 上里 美月 安座間 博翔 前田 満月	53
3	木材の付加価値を高めるために	熊本県立阿蘇中央高等学校 (グリーン環境科)	高野 駿 戸田 響介 富田 馨仁 中山 琉聖 橋本 流刀	56

4	人吉・球磨地域の豊かな森林資源の有効活用で地域活性化	熊本県立南稜高等学校 (総合農業科)	原口 煌人 杉本 良仁 横山 司 東 蓮人 伊東 和志	58
5	画像処理技術とICT技術で林業の労働負担軽減へ	熊本県立矢部高等学校 (林業科学科)	秋山 響希 佐藤 光翼 岩崎 凜将 高宮 成弥 橋本 幸宝 堀 鉄生 村上 優太 山崎 颯太	61
III	審査講評 一般・高等学校の部	国立研究開発法人 森林研究・整備機構	伊神 裕司	64
IV	入選課題一覧			
	九州林政連絡協議会会長賞 (一般の部)	6 課題		68
	九州森林管理局長賞 (高校生の部)	3 課題		
	一般社団法人 日本森林技術協会理事長賞	1 課題		

